

リビング編集部が街中の 身近なユニバーサルデザインを 見つけていきます



毎月、リビング編集部が郡山市の熊田佳恵さんと共に、街中の身近なユニバーサルデザインを見つけていく「こおりやまUD探訪」わたしの街のユニバーサルデザインを。このコラムのバックナンバーは、郡山市ホームページ「こおりやまUD探訪」で検索を。UDコラムに関する問い合わせは、郡山市市民部 市民・NPO活動推進課 ☎024(924)3471。



試合の様子。攻撃で必ず1点以上は入るのでゲーム感覚で楽しめます。

わたしの街の

ユニバーサルデザイン

コーディネーター

こおりやまUD探訪

PR

vol.8 郡山市アメリカン・フラッグフットボール協会

性別や年齢、能力に関係なくみんなでできるスポーツがあったら楽しいですね。

昨年、小学校3・4年生の体育の授業の必修科目として加わり、注目を集める「フラッグフットボール」。アメリカンフットボールがベースですが、ボールは小さく軽量、タックルの代わりに相手の腰に付いたフラッグを取るの、より安全です。個々の運動能力よりも作戦が重要となり、

年齢や技術に関係なく活躍できます。郡山市アメリカン・フラッグフットボール協会を立ち上げた石田智宏さんは、「誰でも楽しめる`スポーツのユニバーサルデザイン`を目指して会を発足。体育は苦手だけど、フラッグフットボールは好きという子もいるんですよ」と話します。

スポーツにおけるユニバーサルデザインの考え方は、今後さらに広がっていきそうですね。



フラッグフットボールは省スペース・少人数・短時間(試合の制限時間は18分)のできるスポーツ。基本ルールも分かりやすいので、初心者でもすぐに楽しめます。プレー中誰もが活躍できる場があり、仲間と協力し合えるのも魅力。会では、ルールを少し変えながら、4歳児から大人まで、車椅子の方も一緒にプレーできるようにしています。

郡山市アメリカン・フラッグフットボール協会 石田智宏さん、高橋克幸さん



みんなで共有できるよう攻撃方法を図にして相談することも。